

# くねっぶ 社協だより

〔発行〕 社会福祉法人 訓子府町社会福祉協議会  
〔住所〕 訓子府町東町398番地  
訓子府町総合福祉センター「うらら」内

TEL : 47-3536 / FAX : 47-5556  
ホームページ : [www.shakyo.or.jp/hp/128/](http://www.shakyo.or.jp/hp/128/)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた町内のサロン活動が6月から再開されています。マスクの着用や手指の消毒、使用した物品をアルコールで拭くなど、感染予防対策をとりながらの再開ではありますが、皆さん楽しんで活動されています。



## ～新しい生活様式～

「新しい生活様式」とは新型コロナウイルスからご自身や、周りの方、そして地域を守るため厚生労働省が公表している生活様式の実践例で、①一人ひとりの基本的感染対策、②日常生活を営む上での基本的な生活様式、③日常生活の各場面別の生活様式、④働き方の新しいスタイルの4つに分けられています。

「新しい生活様式」を習慣付けて十分な感染症予防を行いながら、熱中症予防にもこれまで以上に注意しましょう！



※この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成の一部で発行しています。

# 令和元年度 訓子府町社会福祉協議会 事業報告

事業内容	
<p>①法人運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■自主財源の確保（会費、寄付）</li> <li>■理事会、評議員会の開催及び監査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会：6回、評議員会：3回、監事監査：4回</li> </ul> </li> <li>■情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だより（年4回）、ホームページ</li> </ul> </li> <li>■各種会議、研修会へ職員を派遣</li> </ul>	<p>⑤身体障害者福祉事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■身体障害者外出支援サービス事業の実施(町委託事業) 延利用人数：10名</li> <li>■身体障害者福祉協会訓子府分会の事務局を担当し事業活動の推進及び活動費を助成</li> </ul>
<p>②地域福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「ふれあい昼食会」の実施 開催数：11回 延参加者数：538名 延協力員数：74名</li> <li>■まごころ弁当配付事業 延配付人数：95名</li> <li>■小地域ネットワーク活動の推進 支援件数 老人クラブ：4件 町内会：4件 サロン：4件</li> <li>■生活支援体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターの配置</li> <li>・生活支援サポーター養成講座の開催</li> </ul> </li> <li>■「ふまねっと」の無償貸出し 貸出数：7件、8セット</li> <li>■民児協「ふれあいチーム推進事業」への支援</li> <li>■日常生活自立支援事業 利用者：1名 支援回数：12回</li> <li>■心配ごと、悩みごと相談窓口の開設</li> </ul>	<p>⑥高齢者福祉事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■声かけ郵便事業の実施 70歳以上の単身者へ児童、生徒及びボランティアによる声掛け郵便の実施 回数：8回 延送付人数：1,140名</li> <li>■夜光反射材付きの杖を希望者へ無償配付 配付人数：10人（11本）</li> <li>■訓子府町老人クラブ連合会の事務局を担当し、事業活動の推進及び活動費を助成</li> </ul>
<p>③ボランティア活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティア実践者と利用者の募集と活動の推進 申請件数：8件 延派遣回数：59回 延派遣人数：140人</li> <li>■ボランティア地域づくり講演会の実施</li> <li>■出前講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアよつば会「車いす介助体験」</li> <li>・訓中福祉学習「車いす介助体験、高齢者疑似体験」</li> </ul> </li> <li>■ボランティアポイント事業の推進 付与ポイント：610P ・交換：200P（8名）</li> <li>■ボランティア基金配分金事業 2件</li> </ul>	<p>⑦その他各種福祉関係団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■北見地区保護司会訓子府町区分及び釧路更生保護協会訓子府分会の事務局を担当し、活動費を助成</li> <li>■社会を明るくする運動事業への支援及び事務局を担当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各啓発活動（町内各盆踊り大会等）</li> <li>・町教育委員会主催「音楽の広場」に共催</li> </ul> </li> <li>■訓子府町遺族会の事務局を担当し事業活動の推進及び活動費を助成</li> <li>■日本赤十字社訓子府町区分の事務局を担当し分区活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤十字会員会費募集及び赤十字奉仕団との連携</li> </ul> </li> </ul>
<p>④共同募金協力事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■赤い羽根共同募金運動への支援と事務局担当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度募金実績額：1,103,685円</li> </ul> </li> <li>■歳末たすけあい運動への支援と事務局担当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度募金実績額：552,250円</li> </ul> </li> <li>■歳末まごころプレゼント事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・贈呈件数：144件</li> <li>・贈呈金額：563,000円</li> <li>・贈呈先対象：ひとり親世帯、75歳以上単身高齢者 静寿園、グループホームはるる、もりの風</li> </ul> </li> <li>■共同募金配分金事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい昼食会</li> <li>・「社協だより」発行</li> <li>・ボランティアセンター運営費</li> <li>・身障訓子府分会助成</li> <li>・老人クラブ連合会助成</li> <li>・交通安全杖配付事業</li> <li>・子ども会育連協助成</li> <li>・遺族会助成</li> <li>・クリスマス楽しみ会助成（民児協主催）</li> </ul> </li> </ul>	<p>⑧福祉資金貸付事業（各限度額：原則50,000円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【生活資金貸付】 低所得世帯や生活困窮世帯、身体障がい者世帯等へ、福祉資金を貸し付け 貸付件数：12件</li> <li>【医療資金貸付】 負傷又は疾病の治療に必要な経費及びその療養期間中に生計を維持するための医療資金を貸付け 貸付件数：0件</li> <li>■道社協生活福祉資金貸付事業 貸付件数：0件</li> </ul>
	<p>⑨その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■車イスの無償貸出し 延貸出し数：32件、35台</li> <li>■レクリエーション用具の貸出し</li> <li>■高齢者単身世帯緊急連絡先情報の更新、整備</li> <li>■葬儀用供花ポスターの頒付</li> <li>■収集活動（リングブル等）</li> <li>■災害等被災者への見舞金贈呈</li> </ul>
	<p>⑩介護保険事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■訪問介護事業</li> <li>■介護予防・日常生活支援総合事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームヘルプサービスを提供し在宅生活を支援</li> </ul> </li> <li>■居宅介護支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン作成</li> <li>・利用者の在宅生活を支援</li> <li>・介護保険認定調査</li> </ul> </li> </ul>

## 令和元年度 訓子府町社会福祉協議会決算書

## 【収入の部】

(単位：円)

科 目	決算額	説 明
会費	1,104,000	個人・法人による会費収入
寄付金	956,788	一般・指定寄付
経常経費補助金	36,175,177	町補助金
共同募金配分金	1,365,525	赤い羽根共同募金等の助成金
受託事業収入	2,100,330	町及び道社協からの受託金
介護保険事業収入	12,360,780	
訪問介護事業	7,695,720	訪問介護給付費等
居宅介護支援事業	4,665,060	居宅介護支援給付費等
訪問介護サービス収入	36,000	社協訪問介護利用料
障害福祉サービス収入	805,360	居宅介護給付費等
貸付事業収入	513,000	福祉資金貸付事業償還金
雑収入	1,586,145	共済会退職手当金 他
受取利息等配当金	1,598	
積立預金取崩収入	3,045,910	福祉事業積立資産取崩し、共済会退職手当金
サービス区分間繰入金収入	0	
前期末支払資金残高	748,118	
合 計	60,798,731	

## 【支出の部】

(単位：円)

科 目	決算額	説 明
人件費	48,844,129	職員給与等
事業費	2,228,358	各種事業経費
事務費	3,736,544	事務費等諸経費
貸付事業支出	440,000	福祉資金貸付事業貸付金
共同募金配分金事業費	1,072,580	赤い羽根共同募金等の助成金
サービス区分間繰入金支出	0	
固定資産取得支出	3,456,000	ハードウェア入れ替え
積立預金積立金等支出	200,000	福祉事業積立資産支出
当期末支払資金残高	821,120	
合 計	60,798,731	

## 貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘 定 科 目	当年度末	勘 定 科 目	当年度末
【流動資産】	8,845,868	【流動負債】	8,024,748
【固定資産】	32,176,793	【固定負債】	9,878,410
基本財産	1,000,000	負債の部合計	17,903,158
その他固定資産	31,176,793	純 資 産 の 部	
		【基 本 金】	1,000,000
		【国庫補助金等特別積立金】	218,750
		【その他の積立金】	15,615,207
		【次期繰越活動増減差額】	6,285,546
		純資産の部合計	23,119,503
資産の部合計	41,022,661	負債及び純資産の部合計	41,022,661



新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方へ

## 緊急小口資金【特例貸付】のご案内

### ■貸付対象

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸し付けを必要とする世帯（生活保護世帯は対象となりません。）

### ■貸付限度額

以下の①～⑥に該当する場合、一世帯につき1回限り20万円以内。

- ①世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者がいる場合
  - ②世帯員に要介護者がいる場合
  - ③4人以上の世帯である場合
  - ④世帯員に子の子世帯を行うことが必要となった労働者がいる場合
    - ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として臨時休業した小学校に通う子
    - ・風邪症状など新型コロナウイルス感染症に感染したおそれのある、小学校に通う子
  - ⑤世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に要する費用が不足する場合
  - ⑥上記のほか、特に資金需要が認められる場合
- その他の場合、一世帯につき1回限り10万円以内。

### ■据置期間：据置期間終了後2年以内

### ■貸付利子：無利子

### ■償還期間：据置期間終了後2年以内

### ■保証人等：不要

### ■申請窓口

市町村社会福祉協議会のほか、労働金庫、郵便局でも申し込みを受け付けています。申し込み先により申込書式、申込み方法が異なります。詳しくは北海道社会福祉協議会ホームページをご覧ください。（URL：www.dosyakyo.or.jp）

なお、特例貸付コールセンターも開設しておりますので、貸付に関するご相談、申込み様式請求等についてご利用下さい。（TEL：0120-321760）

## 介護職員初任者研修 受講費の一部を助成します

訓子府町における介護保険サービスに係る雇用確保及び介護保険サービスの安定供給を図るため、北海道介護職員初任者研修実施要綱に規定する「介護職員初任者研修過程」を受講する方へ費用の一部を助成いたします。

### 〔助成対象者〕

町内に住所を有する者で、町内の介護保険事業所に就業している者又は就業を希望する者。

〔助成対象研修〕 介護職員初任者研修

〔助成対象経費〕 初任者研修における受講料

〔助成金限度額〕 25,000円

※募集人員に達した場合は早期に受付を終了することがあります。

※助成後は本会で修了者名簿を作成し、町内介護保険事業所に情報提供することがあります。

※その他、詳細についてはお問い合わせ下さい。

## 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、生活支援員がお手伝いをいたします。

### 〔利用対象者〕

在宅で生活している方で、判断能力に不安を感じており、事業内容を理解し契約能力がある方（契約締結ガイドラインに基づき契約能力があるか判断いたします。）

### 〔サービス内容〕

- ①福祉サービス利用援助（福祉サービスの情報提供、利用手続き等）
  - ②日常的金銭管理サービス（金融機関からの払い戻し、各支払い）
  - ③書類等の預かり（金融機関の貸金庫利用の場合は実費負担）
- ※①が基本事業となりますので②、③のみの利用はできません。

〔利用料〕 1時間：1,200円＋生活支援員の交通費実費

## あたたかいご寄付を ありがとうございます

あたたかいご寄付をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。皆様のご厚意に感謝し、地域の福祉活動に活用させていただきます。

（令和2年4月11日～令和2年7月10日）

### ▽香典返しにかえて

- ・大塚 マツ子 様（実 郷）・小松 みどり 様（東 町）
- ・大畑 隆 繁 様（駒 里）・富山 正 紀 様（穂 波）
- ・山川 洋 子 様（東幸町）・工藤 良 二 様（栄 町）
- ・木村 博 仁 様（穂 波）・高橋 信 子 様（旭 町）
- ・山本 祐 一 様（西 富）・眞田 勝 様（末広町）
- ・桧崎 弘 美 様（開 盛）・福田 みずほ 様（清 住）

## 『生活資金』・『医療資金』 を貸付けいたします

経済的な理由で一時的に資金を必要とする方、負傷又は疾病の療養に必要な経費及びその期間中に生計を維持するために必要な「生活資金」・「医療資金」を貸付けします。

※貸付限度額：50,000円

※「生活資金」の貸し付けにつきましては、連帯保証人が必要となります。（医療資金不要）

※医療資金の貸し付け要件

- ・医療費の支払いが貸付け金額の概ね5割以上となること
- ・医療機関が発行する領収書等を2カ月以内に提示すること（連帯保証人不要）